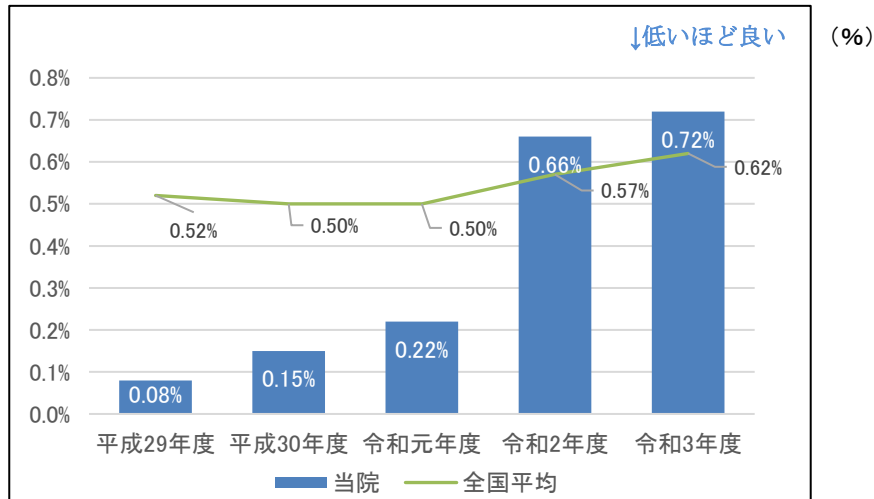


22 褥瘡発生率

○項目の解説

入院中に発生した褥瘡(床ずれ)は、患者のQOLを低下させ、入院の長期化につながることもあります。予防可能な褥瘡については、適切な診療やケアにより発生を回避できます。当該指標は予防への取り組みとその効果を示す指標です。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

褥瘡の発生は、平成元年度より増加傾向が認められ、令和2年度、3年度と発生率が高い値となりました。令和3年度は、褥瘡発生件数は減少しましたが、MDRPU(医療関連機器圧迫創傷)件数が、新たにカウントに加わり、発生率が増加しています。主な発生要因は、マットレスの劣化や予防対策の不足、褥瘡発生リスクが高い患者が多かったことが考えられます。

対策としては、今年度、標準マットレスの一部更新や台数が不足していたエアマットレスを購入し、体圧分散マットレスの充実をはかりました。また、適切な褥瘡予防管理に向け、各部署での学習会や予防対策の見直しを、皮膚排泄ケア認定看護師と連携し行っています。

引き続き、予防介入を徹底し褥瘡発生率の低下に努めてまいります。

○定義

当該年度1年間での、褥瘡発生率(入院してから新しく褥瘡を作った患者比率(%))です。

自重による褥瘡以外、MDRPU(医療関連機器圧迫創傷)も含めます。

○算式

分子:新規褥瘡発生患者数

分母:年間入院患者数